

子どもたちが川で遊び、川に学べる自然環境を ～美馬市水辺の楽校が開校～

5月2日（土）9時から、美馬市美馬町の中鳥川沿いに完成した、身近な河川を子どもたちの自然体験活動の場とする「水辺の楽校」の開校式が行われました。

約300人が参加した開校式では、地元の重清西小学校と幼稚園の児童・園児の皆さん計114人がそれぞれ木の板に描いた絵を張り付けたモニュメントの除幕式をスタートに、もち投げ、どろんこ祭り、竹炭無料配布、竹細工体験、ウォーキング大会などの様々な自然体験イベントが行われ、子どもたちの歓声が終日響いていました。

また、翌3日（日）には植物観察会と簡易水質調査体験が実施され、中鳥川一帯には希少な植物が生息していて、自然豊かな場所がごく身近にあるということや、この日の吉野川は、水素イオン濃度指数であるpHが7.59、水の汚れを表す度合いであるCODが1以下、中鳥川のpHが7.55、CODが1と良好な状態であることがわかりました。

この「水辺の楽校」は、美馬市で管理棟やあずまやなどを整備し、国土交通省の協力により遊歩道等の整備をしております。今後同地域で活動を展開している団体や地元の皆様の協力により、有効活用と環境保全に取り組んでまいります。

～5月2日、3日に行われたイベントの一部を紹介します～



▲モニュメント除幕



▲植物観察会



▲水質調査体験



▲どろんこ祭り